

## 新年のご挨拶

今年もよろしく  
お願いいたします!



越辺川出張所長 前田 耕一

日頃より、入間川流域緊急治水対策プロジェクトの事業推進にあたり、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、都幾川上流部の関越道自動道より上流で樹木の伐採、堤防の整備および樋管の改築、関越道より下流で堤防の整備と樋管の改築を実施しています。

あわせて、越辺川天神橋上・下流の坂戸市赤尾地区で河道掘削を実施しています。

工事はR6.3月末の完成に向け最盛期を迎えますが、工事業者と一丸となって安全第一で地域の安全を守るため工事を進めていきます。

地域のみなさまには引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

## 越辺川の落合橋周辺の河川敷に巨大文字が出現!

「社会インフラを活用し、建設施工技術で社会を明るくする運動」の取組の一環として、河川敷などのインフラを利用し最新の施工技術を駆使して、新年のメッセージを創る活動の試行が、ICT技術をもつ建設企業を中心に全国で行われています。今年のテーマは「2024 START」。荒川上流河川事務所では、越辺川左岸の河川敷(埼玉県比企郡川島町地先)のフィールドを提供しました。関東建設青年会議※1の取り組みとして、当該箇所の工事施工業者である小川工業株式会社が、ICT技術であるマシンコントロール機能付き建設機械※2を使い、1週間かけて越辺川に巨大文字を完成させました。実施箇所周辺は、令和元年東日本台風で被害のあった入間川流域において令和7年度事業完了を目指して「入間川流域緊急治水対策プロジェクト」事業を実施しています。

※1 関東建設青年会議: 関東7県の建設業協会各青年部会で組織する会議

※2 マシンコントロール機能付き建設機械: 位置計測装置を用いて施工時に半自動で操縦・制御できる建設機械

完成した  
巨大文字



もっと詳しく知りたい!

プロジェクトの最新情報は荒川上流河川事務所のホームページからご覧いただけます。

本プロジェクトで推進中の入間川・越辺川・都幾川の堤防整備工事、河道掘削工事については、早期整備を目指し鋭意施工中です。





# 巨大文字が出来るまで！

作業前



丁寧に作業しています



1月11日時点



1月9日時点



完成



きれいな文字ができました！



## 小川工業からの一言

『START』には、2024年に施行される罰則付き時間外労働の上限規制に伴う生産性向上にむけたDXへの取組、賃金アップなど新たな時代の幕開けの思いが込められています。また、建設業は災害の復旧もそうですが、皆さんの生活基盤のインフラを支える誇りある仕事です。本事業はこれから変化していく建設業に対して、多くの人に興味を持ってもらうために企画されました。

巨大文字の施工につきましては、完成形を3Dプリンターで作成した模型やAR(拡張現実)システムを使用してオペレーターと事前にイメージを共有しながら掘削方法や順序の検討を行いました。その結果、大型MCバックホーに加え、狭箇所を小型MCバックホーで掘削することでスムーズに施工することができました。

小川工業メンバー



国土交通省 関東地方整備局

荒川上流河川事務所

## 【事業に関するお問合せ】

●流域治水課 荒川緊急治水対策推進室  
049-246-6360

## 【工事に関するお問合せ】

●越辺川出張所 0493-34-3129  
●入間川出張所 049-231-0458